

子タヌキに遭遇しました

ある朝、テニスコートを清掃するため現地に向かった職員から、コート内にタヌキがいると連絡を受けて行ってみました。以前にもタヌキを見かけたことがあるので、驚きはしませんでした。どこから入ったのかを気にしながら向かいました。テニスコートはコンクリートの腰壁と鋼製のフェンスで囲まれているので、どこかに穴があるのか、排水管からかなどと思いを巡らせていました。しかし、コート内で見た光景はプレイヤーが休む時に使うベンチの下に、うずくまる子タヌキでした。



ベンチ下の子タヌキ



左の写真の拡大です

上の写真をよく見ると、コンクリート製の腰壁とフェンスの間には隙間があり、子タヌキの頭の大きさくらいの隙間です。きっと、親タヌキと園内を散策中にこの隙間から身を乗り出してコート内に落ち込んだ可能性が高そうです。親タヌキの姿は確認できませんでしたが、近くの植栽に潜んで様子を見ているかもしれません。そこで、虫取り用の網を使って捕獲し、コートの外に連れ出しました。



園路上でうろつく子タヌキ



テニスコート上の草地に向かっていきます

外に出れば一目散に逃げると思っていたのですが、どこに行ってもいいのか園路上で途方に暮れています。少し追い立てるとテニスコート沿いに歩きだし、植栽地の中消えていきました。親に会えることを願っています。